

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 6 月 29 日 (2006.6.29)

【公表番号】特表 2005-530380(P2005-530380A)
 【公表日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-039
 【出願番号】特願 2004-504505(P2004-504505)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/44 (2006.01)
G 0 8 B 27/00 (2006.01)
H 0 4 B 1/16 (2006.01)
H 0 4 H 1/00 (2006.01)
H 0 4 N 5/60 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/44 Z
 G 0 8 B 27/00 C
 H 0 4 B 1/16 M
 H 0 4 H 1/00 D
 H 0 4 N 5/60

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 9 日 (2006.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

装置であって：

テレビジョン信号処理器がオンモードにある間に、音声信号及び映像信号の少なくとも 1 つにチューニングする 第 1 手段；

前記装置が前記オンモード及びオフ/スタンバイモードにある間に、緊急イベントを表す信号にチューニングする第 2 手段；及び

ユーザにより選択可能な地理的地域 及びイベントの 1 つに対応する前記緊急イベントに応じて警戒出力を有効にする手段；

から構成されることを特徴とする 装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の 装置であって、前記警戒出力は補助情報表示から構成される、ことを特徴とする装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の 装置であって、前記補助情報表示はクローズドキャプション表示から構成される、ことを特徴とする装置。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の 装置であって、少なくとも 1 つのインジケータ素子を含む表示手段から更に構成され、前記警戒出力は少なくとも 1 つのインジケータ素子により与えられるビジュアル表示から構成される、ことを特徴とする装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の 装置であって、前記表示手段は複数のインジケータ素子から構成され

、各々のインジケータ素子は異なる色を表示する、ことを特徴とする装置。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の装置であって、前記の警戒出力を有効にする手段は前記ユーザにより選択可能な第 1 時間期間の間に前記警戒出力を有効にする、ことを特徴とする装置。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の装置であって、前記警戒出力は複数のビジュアル表示から構成される、ことを特徴とする装置。

【請求項 8】

装置を制御するための方法であって：

前記装置がオンモードにある間に、音声信号及び映像信号の少なくとも 1 つをチューニングするように第 1 手段を用いる段階；及び

前記装置が前記オンモード及びオフ/スタンバイモードにある間に、緊急イベントを表す信号にチューニングするように第 2 手段を用いる段階；並びに

ユーザにより選択可能なイベント及び地理的地域の 1 つに対応する前記緊急イベントに応じて警戒出力を与える段階；

から構成されることを特徴とする方法。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の方法であって、前記警戒出力は補助情報表示から構成される、ことを特徴とする方法。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の方法であって、前記補助情報表示はクローズドキャプション表示から構成される、ことを特徴とする方法。

【請求項 11】

請求項 8 に記載の方法であって、前記警戒出力は前記装置の表示パネルにおける少なくとも 1 つのインジケータ素子に与えられる、ことを特徴とする方法。

【請求項 12】

請求項 11 に記載の方法であって、前記少なくとも 1 つのインジケータ素子は前記緊急イベントを表すように色を表示する、ことを特徴とする方法。

【請求項 13】

請求項 8 に記載の方法であって、前記警戒出力は前記ユーザにより選択可能な第 1 時間期間の間に与えられる、ことを特徴とする方法。

【請求項 14】

請求項 8 に記載の方法であって、前記警戒出力は複数のビジュアル表示から構成される、ことを特徴とする方法。

【請求項 15】

装置であって：

前記装置がオンモードにある間に、音声信号及び映像信号の少なくとも 1 つにチューニングする第 1 手段；

前記装置が前記オンモード及びオフ/スタンバイモードにある間に、緊急イベントを表す信号にチューニングする第 2 手段；及び

ユーザにより選択可能なイベント及び地理的地域に対応する前記緊急イベントに応じて警戒出力を有効にする手段；

から構成されることを特徴とする装置。

【請求項 16】

装置を制御するための方法であって：

前記装置がオンモードにある間に、音声信号及び映像信号の少なくとも 1 つをチューニングするように第 1 手段を用いる段階；及び

前記装置が前記オンモード及びオフ/スタンバイモードにある間に、緊急イベントを表す信号にチューニングするように第 2 手段を用いる段階；並びに

ユーザにより選択可能なイベント及び地理的地域に対応する前記緊急イベントに応じて

警戒出力を与える段階；
から構成されることを特徴とする方法。